

「消防学校ニュース」

平成 29 年 6 月 30 日発行



初任科生

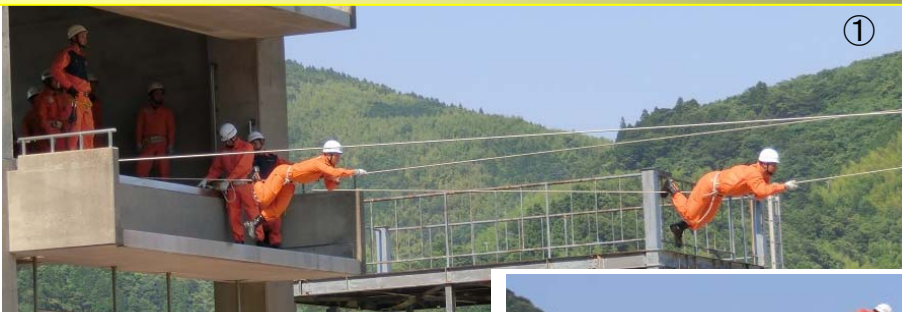
まだまだ
奮闘中!

「救助訓練」
の締め括りとして、
宮沢賢治の
“雨ニモマケズ”を
唱和します



雨にも負けず 風にも負けず
雪にも夏の暑さにも負けぬ
丈夫なからだをもち・・・

・・・褒められもせず 苦にもされず
そういうものに **わたしはなりたい**



初任科第 87 期の実科訓練もいよいよ本格化してきました。

写真①では、渡過訓練(セーラー渡過)に学生が挑戦しています。途中、バランスを崩し、どうしても元の姿勢に戻れなければ、教官が救助に向かいます。

写真②は、機器取扱訓練で徒手搬送法を学びます。

写真③は、三連はしごの取扱訓練の様子です。

写真④では、消防活動訓練として、上層階へのホース展長を行っています。

校長点検 始まりました

初任科生は入校以来、毎朝欠かさず通常点検（人員、姿勢、服装、手帳等）を実施し、不備な点を是正しながら反復訓練を行ってきました。担当教官、教務班長、副校長の点検を経て、6月に入り、いよいよ校長点検を実施。2回目の校長点検以降、毎日実施していた点検を週1回とし、校長（又は副校長）が点検者として行うこととしています。



2週間にわたる消防大学校入校経験を生かすべく
新任校長は学生たちの気を引き締め、緊張感を高めます。

消防長による学生激励

6月13日に駿東伊豆消防本部の山中 史隆消防長、23日は熱海市消防本部の土屋 千秋消防長、27日には袋井消防本部の牧野 敏男消防長が初任科生の視察・督励に来校いただきました。



駿東伊豆消防本部



袋井消防本部

消防学校での生活、訓練に“慣れ”てきた学生たちにとって、消防長の激励は気合を入れ直す「よ〜く効く薬」となっています。御多忙中のところ本当にありがとうございました。



熱海市消防本部

われら精鋭部隊！

【教官紹介コーナー】②

主査 園部 元康（駿東伊豆消防本部から派遣）

初任科生にも外傷処置の大切さを理解してもらうため、6月に外因性実習を実施しました。外傷に対するアプローチとして、本県メディカルコントロール協議会が定めた「静岡県救急活動プロトコル」に準じた実習であり、本校初任科を卒業した配属初日から必要となる知識と技術を習得させるものです。

学生の中には専門的に救急技術を学び、救急救命士の資格を持って入校してきた者がいます。班内の実技訓練では、他の学生に対して生き生きとサポートしていました。

初任科生へ・・・

獲物を狩る獣のように、直後から100%の力を発揮しなくてはならない。アスリートのように入念な準備運動はできない。常日頃から万全な準備をし、そして考えろ！



園部教官は、初任科第87期の副担当であり、教育訓練においては非常に厳しい教官ですが、指導救命士の資格を持ち、職員や学生の健康管理に人一倍心掛けている、教官内でも一目置かれた存在。
… 派遣3年目の“熱〜い”職員です(校長)

